

令和3年度事務事業実績評価表

1 事業概要

事務事業名		強い園芸産地育成事業		課名	農業課	事業No.	164
				会計	一般会計		
				事業区分	政策	実施区分	継続
				開始	H27	終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称			
	戦略計画		1	稼ぎ、安心して働ける「魅力ある産業」をつくる			
	分野別計画			地域経済活性化プログラム			
			飯田市農業振興ビジョン				
法令・例規等							
事業目的		対象	果樹、野菜、花き等の生産農家				
		意図	省力化等の取組支援による園芸産地の生産基盤強化				

2 事業内容

3年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)			
		省力化・効率化及び生産性向上を図るため、推奨品目の導入支援と、雨よけ施設等の整備支援を行いました。 市田柿では、規模拡大を目指す生産者6名を新たに特認生産者として認定し、生産者育成に取り組むとともに、品質及び生産性向上を図るため、加工機器の導入を支援しました。 環境保全の面では、「有機農業と地域振興を考える自治体ネットワーク」へ加入し、他自治体等と情報共有しました。8月には飯田市を主会場とし「有機農業研究者会議2021」を開催しました。また、環境負荷軽減及び安定的な農作物生産に繋げるため、土壌診断への支援を行いました。	果樹、野菜、花き生産振興補助金他					12,936		
		市田柿生産振興補助金					9,225			
		土壌診断推進事業補助金					218			
		その他の経費					4			
活動指標	指標名 (数値で表せる活動量)	単位	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
	果樹・花き推奨品種苗木導入支援面積	a	700	1,150						
	省力化等施設整備支援件数	件	20	21						
	市田柿加工設備等導入支援件数(一般生産者)	件	70	72						
	市田柿加工設備等導入支援件数(特認生産者)	件	30	35						
	市田柿苗木導入支援面積	a	200	550						
	市田柿特認・中核的生産者数	人	70	68						
	環境保全型農業直接支払交付金対象面積	a	74	0						
土壌診断支援件数	件	700	460							
3年度決算(千円)	予算額		26,921		特定財源内訳及び補足事項					
	決算額		22,383		(県) 園芸特産振興事業補助金(県1/2)					
	財源の状況	国庫支出金	0		(そ) 環境保全型農業直接支払交付金返還金					
		県支出金	11,522							
		地方債	0							
		その他	4							
一般財源		10,857								

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	4	40	1	16,465	12,936	果樹・野菜等振興事業費
2	1	6	1	4	40	2	10,001	9,225	市田柿振興事業費
3	1	6	1	4	25	1	455	222	人と環境にやさしい農業推進事業費
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		園芸産地として生産量及び園地を維持していくうえで、農家の減少、農業従事者の高齢化の進行が課題となっています。当地域の基幹産業である市田柿に関しては、高齢化による将来的な農家の減少に加え、生産・加工両面で気候変動への対応が課題となっています。また、環境に配慮した農業を推進していくうえでは、生産者と消費者の環境配慮型農業に対する理解の醸成が必要となってきます。							
上記の課題解決のための有効策		農家減少、農業従事者の高齢化に対応するためには、新技術や省力栽培技術を導入し、農作業の省力化・効率化を推進していくことが重要です。市田柿はより重要となっていく加工工程の品質管理についての指導を徹底していく必要があります。また、環境に配慮した農業を推進するために、生産者と消費者双方に対する環境配慮型農業の周知を行うことが必要です。							
次年度に向けての取り組み		推奨品種の導入や雨よけ施設等の整備支援、高収益が見込まれるぶどうの産地化を推進します。市田柿は、加工設備等の導入支援や中核的生産者の育成を行い、生産基盤の強化に取り組めます。また、土壌診断支援や環境配慮型農業の啓発活動を実施し、環境に配慮した農業の推進に取り組めます。							